

# 神奈川の道德

## 平成27年度「日本道德教育学会神奈川支部」研究大会開催

テーマ：新しい道德教育の展開～改正の意図を生かした道德科教育～

平成27年12月23日、川崎市立上丸子小学校特別活動室にて、「日本道德教育学会神奈川支部」研究大会が開催されました。毎年恒例となった天皇誕生日の開催で、年末の忙しい時期でしたが、神奈川支部会員を中心に40名近くの参加がありました。

今年度も、小学校と中学校それぞれ一つずつ実践提案がありました。

- ① 「自分を見つめ よりよく生きていこうとする子の育成 ～言葉を生かし考えを深める～」唐澤知子先生（川崎市立幸町小学校教諭）

川崎市の推進校として校内で道德を取り組んだ実践を丁寧に説明されました。道德科（道德の時間）で学んだことを日常生活に活かしていくための取り組みにおける多くの工夫について提案されました。

- ② 「道德授業における指導と評価の一体化について」

東克也先生（横浜市立旭中学校教諭）

「感謝」を主題とした授業実践記録とともに、その時間の指導過程と発問に関する考察を示しながら、生徒一人一人に対する評価とその授業に対する評価を考えていく実践提案でした。生徒の反応を詳細に分析している点から、これから課題となる道德の評価について考えさせられる内容でした。

次に行われたパネルディスカッションでは、「改正の意図を生かした道德科授業」をテーマに小学校・中学校・行政・大学を代表したパネラーが議論を進めました。

パネラー：木村元彦先生（中井町立中村小学校長）

高山友美子先生（川崎市立住吉中学校長）

富岡直子先生（横浜市教育委員会指導部指導企画課指導主事）

藤原政行先生（日本大学生物資源科学部准教授）

コーディネーター：富岡栄先生（日本大学理工学部講師、前高崎市立第一中学校長）

児童・生徒が考える・議論する道德科をめざしていくためにどのような方法があるのか、それぞれの立場から提案がありました。また大学現場では教員養成のために道德科の指導法を教える体制づくりが早急な課題であることも話題となり、道德科の授業を推進していくための課題が現れてきました。

その後の記念講演は、土田雄一先生（千葉大学教育学部附属教員養成開発センター教授）をお呼びして、研究大会テーマと同じ「新しい道德教育の展開」と題して行われました。お互いを認め合う人間関係づくりを基礎として道德科の授業を展開していくことを、参会者自身が体験できるように講演を進められました。ウェビングと問題解決的学習について、NHK番組「ココロ部」を用いた授業を例にとりながら有意義な提案をいただきました。これからの道德科の授業を実践していくために指針となるお話でした。



### 臨時総会報告

研究大会での挨拶で田沼茂紀支部長から提案があり、本田正道理事を議長として臨時総会が行われ、以下の議案が承認されましたのでご報告いたします。変更した会則は来年度の総会で提示します。

議案：法人登録について

これまで出版社の方など多くの法人の方が個人会員として神奈川支部に参加していましたが、法人としての登録をし、法人所属者は何名でも参加できるようにします。法人登録の会費は4,000円と定めます。



【神奈川支部ホームページアドレス】

<http://www.doutokukanagawa.com/>